

## 「当院でのS状結腸・直腸癌に対する縫合不全の現況と対策の取り組み」

### へご協力をお願い

#### 一当院でS状結腸以下の結腸直腸癌の原発巣切除を行った患者さんへー 【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター外科では、以下の臨床研究を行っております。  
内容をご確認ください。

#### （1）研究の概要

##### 【研究の意義】

S状結腸・直腸癌に対する縫合不全は短期・長期予後も悪化させるとされており、縫合不全を減少させることは外科医にとって必須の課題となっています。当院でも縫合不全に対し、様々な対策を実施し、縫合不全の減少に取り組んできました。そのためこれまでの取り組みを調査し、今後の対策を検討することは、縫合不全の減少に寄与すると考えられます。

##### 【研究の目的】

この研究では当院での治療成績、縫合不全に対する取り組み結果を調査し、今後の対策について検討を行います。

そこで対象調査期間中にS状結腸以下の結腸直腸癌の原発巣切除を行った患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

#### （2）研究の方法

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。  
研究期間：研究機関長許可日から2024年7月16日まで  
（調査対象期間 2015年1月1日～2023年12月31日）
- ② 今回の調査研究の対象は対象調査期間中に当院でS状結腸以下の結腸直腸癌の原発巣切除を行った患者さんのカルテ等の治療データです。  
情報：年齢、性別、BMI、病期、術前栄養状態、手術成績・腹腔鏡・開腹の別 等
- ③ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ④ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑤ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

- ⑥ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑦ この調査研究は、研究費を使用しません。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

**【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

高崎総合医療センター 外科 医長

研究責任者：宮前 洋平

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)